

R3 信州上田学_出前講座（丸子修学館高校）【まとめ】

日 時 令和3年10月14日（木）13:50～14:35
会 場 丸子修学館高校 大講義室
参加人数 35名（2学年の生徒・教員）

【SDGsと探究～「気候変動とSDGs」～講義…約45分】

講師：藤川まゆみさん（NPO法人 上田市民エネルギー代表）



講義の内容：

現在、丸子修学館高校2学年でのキャリア教育の一環として「SDGsと探究」を行う中で、地球温暖化の現状や自然エネルギーの可能性などについて深い学びとなるよう、上田市民エネルギー代表の藤川理事長を講師に招き、出前講座を実施した。

○「相乗りくん」による創エネの取組について

- ・パネルオーナー（出資者）を募集し、現在、56箇所に「相乗りくん発電所」を設置。
- ・「自然エネルギーを増やすコミュニティ」として、エネルギーを創り出す活動を実施。

○気候変動の状況について

- ・温室効果ガスの影響により、「止められなくなる負の連鎖」が始まるティッピングポイント（1900年代後半の平均より1.5℃の上昇）まで、危機的な状況に近づいている。
- ・2030年度までに、現在のCO₂排出量を大幅に削減する目標を達成する必要がある。

○SDGsの視点を取り入れた実践事例について

- ・日本のCO₂排出は火力発電（特に石炭火力）が多くの割合を占め、全体の88%が化石燃料の燃焼によるため、自分たちでできる「再エネ・創エネ」の取組が重要である。
- ・白馬高校では、気候変動を止めるためにアクションを起こし、教室の断熱DIY（天井・壁・内窓など）ワークショップなどの活動を実践している。
- ・「エネルギー」や「気候危機」などは大きな課題であるが、具体的な行動を起こして「見える化」し意思表示することで、社会を変えることにつながるものとする。

総括（講師・担当教員による全体まとめ）

- ・気候変動を止めるため、みんなができることを考え、一緒に未来をつくってほしい。
- ・高校生である今こそ、「高校生ブランド」を大いに活用してほしい。
- ・自分たちで声をあげることが大切であり、学校としてできる取組なども考えていきたい。

